

2018年7月27日

ESG 投資のための株価指数の構成銘柄に採用

住友化学は、このたび、ESG（環境、社会、ガバナンス）投資のための株価指数である「FTSE Blossom Japan Index」および「MSCI ジャパン ESG セレクト・リーダーズ指数」に2年連続、「MSCI 日本株女性活躍指数（WIN）」には新たに構成銘柄に採用されました。これにより、年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）が選定した3つの ESG 指数の全てに採用されたこととなります。

「FTSE Blossom Japan Index」は、世界的なインデックスプロバイダーである FTSE Russell 社が設計した指数であり、ESG について優れた対応を実践している日本企業を選別して構成されています。また、「MSCI ジャパン ESG セレクト・リーダーズ指数」および「MSCI 日本株女性活躍指数（WIN）」は、世界中の機関投資家に対して、投資の意思決定をサポートするさまざまなツールを提供している MSCI 社が設計した指数です。MSCI ジャパン IMI トップ 500 指数を構成する銘柄の中から、ESG 評価が優れた企業と女性の活躍推進に優れた企業をそれぞれ選別しています。

住友化学は、「事業は自らを利するとともに、広く地域や社会を利するものでなければならない」という住友の事業精神のもと、「T・S・P」*三位一体の考え方により、グループ全体で ESG 活動に積極的に取り組んでいます。2016 年度からは、温暖化対策、環境負荷低減に資する当社グループの製品や技術を「スマカ・サステナブル・ソリューション」として認定する制度を開始するとともに、SDGs をテーマとした社員参加型プロジェクト「サステナブルツリー」を実施しています。また、今年4月には、サステナビリティへの貢献に向けた取り組みと、ESG に関する情報開示を強化するため「サステナビリティ推進委員会」を設置しました。

住友化学グループは、持続可能な社会の実現に向けて、一人一人が想像力を最大限に発揮し、化学の総合力で新たな価値創造に挑戦してまいります。

* トップのリーダーシップの下（T：Top）、事業を通じて（S：Solutions）、全社員が参加（P：Participation）

以上

